

議会だより はこね

「大谷翔平選手からのグローブプレゼント」はこね到着



仙石原小学校体育館での贈呈式



湯本小学校校長室にて



箱根の森小学校6年生の教室

主な内容

- 12月定例会結果等 P2~3
- 一般質問 P4~7
- 委員会報告等 P8~9
- 議会ではこんなことをしています P10
- 活動紹介 P11

12月定例会（11月30日～12月12日）**議決件数（12件）****条例改正（6件）可決****第66号 箱根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について**

初任給及び若年層の給料月額引き上げ。期末勤勉手当の改定。在宅勤務等手当の新設。非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正。育児休業等に関する条例の一部改正。

第67号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告による一般職の期末手当の改定に伴う、町長、副町長、教育長の期末手当の改定。

第68号 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職の期末手当改定に伴う、議員の期末手当の改定。

第69号 箱根町国民保護協議会条例の一部を改正する条例の制定について

国民保護等における更なる自衛隊との連携協力を図ることを目的として、自衛隊員を委員に任命するため、現行の委員数を20人から25人に増員。

第70号 箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について

固定資産税の課税標準の特別等に関する規定の整備。軽自動車税の種別割のグリーン化特例の延長・見直しに伴う整備等。

第76号 箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険被保険者世帯に出生する予定または、出生した被保険者がいる場合、当該世帯の世帯主に対して賦課する国民保険料のうち所得割額及び均等割額が軽減。

補正予算（4件）可決**第71号 令和5年度箱根町一般会計補正予算（第4号）**

補正額 10億8,211万円

主な内容

- ① 常備消防費、社会福祉総務費、事務局費等、人件費追加 2,098万7,000円
- ② ふるさと納税促進事業追加 5億21万1,000円
- ③ 財政調整基金積立金追加 4億9,978万9,000円
- ④ 戸籍住民基本台帳費経常経費追加 135万3,000円
- ⑤ 介護保険特別会計繰出金追加 160万円
- ⑥ 夜間保育施設補助事業 27万円
- ⑦ ごみ処理費経常経費・更生減 3,266万9,000円
- ⑧ 観光施設高付加価値化申請支援事業 1,234万円
- ⑨ ハイキングコース等整備事業追加 434万1,000円
- ⑩ 道路維持費経常経費追加 500万円
- ⑪ 河川総務費経常経費追加 200万円
- ⑫ 町営住宅整備事業追加 155万円 など

第72号 令和5年度箱根町介護保険特別会計補正予算（第2号）

補正額 160万円

主な内容

- ① 人件費追加 160万円

第73号 令和5年度箱根町水道事業会計補正予算（第1号）

補正額 644万1,000円

主な内容 ① 建設改良費追加 644万1,000円

水道施設がある民有地を購入するための費用を計上。

第77号 令和5年度箱根町一般会計補正予算（第5号）

補正額 1億3,369万3,000円

主な内容 ① 緊急支援給付金給付事業追加 1億2,544万3,000円

② 在宅重度障がい者等支援事業追加 60万円

③ 子育て世帯応援給付金給付事業追加 765万円

工事請負契約の一部変更（1件）可決

第74号 工事請負契約の一部変更について

町営住宅整備事業の前田町営住宅外壁及び屋上改修工事に、追加の工事が必要となったことから工事請負契約の金額を変更。

当初金額 6,795万8,000円 → 変更後8,074万円

指定管理者の指定（1件）可決

第75号 仙石原公園いこいの家指定管理者の指定について

指定管理者 一般社団法人箱根町シルバー人材センター 理事長 福住正巳

令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間

議会議事案件

請願第2号 政府に「再審法改正」を求める意見書採択についての請願書

総務企画観光常任委員会に付託となり、閉会中の継続審査となりました。

議員別議案賛否一覧（賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣	
67	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
68	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
69	箱根町国民保護協議会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
70	箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 —:議長は採決に参加しません。

買い物弱者に対する支援策として「移動販売車」の導入は

町… 来年度のできるだけ早い時期に移動販売を開始したい



勝俣 陽二 議員

Q 本町のような、山間
に集落が点在している
特殊な地形であり、かつ人
口減少により地域での商店
がなくなってきたという現状、
すなわち地域で「買い物をする
場所」がなくなってきた
いる中で、車による移動手
段は、生活する上で欠かさ
ずこのできないものである
が、高齢者の方にとっては、
様々な理由によって運転免
許証を返納される方が町内
で増加し、そのことによる
移動手段をもたない高齢者
等の、いわゆる「買い物弱者」
が増加し、買い物に不便を
感じているという切実な声
が届いている。

このような中で、移動手
段をもたない高齢者等の「買
い物弱者」に対する支援策
としては、「移動販売車の導
入」が有効であり、必要で
あると思うので、その導入
に関しては、ぜひ検討をし

ていただきたいと考えるが、
町長の見解は。

A 町長 移動販売車の
導入については、来年度
の導入に向けて、現在準備
作業を行っている。具体的
には、近隣の自治体で実績の
ある「マックスバリュ東海」の
協力を得て、町内で週に5日
間実施できるように、現在、各
地域の自治体に事業内容を説
明しているとともに、移動販
売車を停める場所などついて
相談している。

このように、移動手
段をもたない高齢者等の「買
い物弱者」に対する支援策
としては、「移動販売車の導
入」が有効であり、必要で
あると思うので、その導入
に関しては、ぜひ検討をし



一般質問の
動画はこちら

町の開発に関する将来へのコンセプトを伺う

町… 観光客、住民共に共生出来るよう研究・指導していく



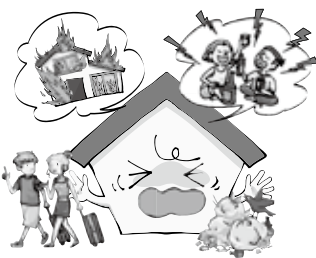
佐藤 章子 議員

Q 増加する無人宿泊施
設、民泊に対しての施
策はいかに？

A 町長 法令により収
容人数が30人以上の宿
泊施設の所有者は、防火管
理者を選任して消防計画を
作成しそれに基づき初期消
火をはじめ、119番通報
や避難誘導などの防火管理
業務を履行することが義務
付けられているが、防火管
理者やスタッフを常駐させ
ておく規定は現在では無い。
火災、地震その他の緊急災
害時を想定し、実際に初期
消火、119番通報、避難
誘導等の対応が迅速・的確・
安全に実施できるかを消防
職員が立ち入り検査に依り
検証し適切に指導してい
きたいと考えている。

民泊を始めようとする方
には、ゴミ、騒音問題を含
め住宅宿泊事業法の規定に
よる届け出機関である県小

田原保健福祉事務所に届け
る以前に、箱根町の特性を
考慮し地域のルールを目的
にした【民泊の手引き】にて、
各種分野において関係各課
と調整を図っている。民泊
に起因する諸問題はリゾート
地に遊びに来ての解放感
によるものと考えられるが、
観光を楽しむことを促す為
にも、同時に町民の生活環
境も保全維持されるよう新
たな施策についても関係部
署で連携を図りつつ研究し
てまいりたいと考えている。



一般質問の
動画はこちら

持続可能な観光地を推進する条例改正を含めた取り組み

町… 条例改定を含めた新たな取り組みを考えていく



折橋

尚道 議員



一般質問の
動画はこちら

Q 景観計画・景観条例で明記されている眺望点や視点場などの指定はないが、指定の考えはあるのか。また、持続可能な観光地の取り組みをより効果的にするために、条例の改正は必要と思われる。

A 町長 景観計画に示している眺望点の指定要件を踏まえながら眺望点の指定に向けて取り組むとともに、回遊性のある街なみの形成に繋げていきたいと考えている。

都市整備課長 地域の景色や風景を守り、造り、育む景観まちづくりは非常に重要な施策であり、今後の取組み等を進めていきながら、その中で景観計画の改定が必要であれば、改定を考えている。

Q 町内には良好な景観が望めるいわゆるビュースポットなどが多くある。景観維持の伐採を進めていくべきである。



A 町長 地域・環境省保護と観光資源の維持という両面に配慮し、所有者への働きかけなど、景観伐採の実施の方策を検討していきたいと考えている。

Q ハイキングコースの案内看板にQRコードを利用した多言語によるコース案内や緊急時の対応などの掲示を検討すべきである。

A 観光課長 パンフレットなどにすでにQRコードの併記を進めている。ハイキングコース上での活用が無いので、活用を考えたい。

こども家庭センター、こどもまんなか社会の実現を

町… こどもまんなか応援サポーター等取り組みを始めている



村野

由紀子 議員



一般質問の
動画はこちら

Q 公明党女性局で日赤の関係者らを招き献血教育の推進について勉強した。献血年齢は16歳から可能だが近年、少子化の影響等により若年層の献血者数の減少が顕著となっており、厚労省では献血普及啓発のため、中学生を対象とした献血への理解を促すポスターを中学校に送付している。献血についての考えは。

A 教育長 大事なことだと思っているので国や関係団体等からの依頼には、可能な範囲で協力していく。

Q 児童福祉法の改正では、こども家庭センターを全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機関と位置付け、こども家庭庁が所管としている。こども家庭センター、こどもまんなか社会の実現に向けて取組んでほしい。

A 町長 こども家庭センターについては、令和6年度設置に向けて準備する。こどもまんなか社会の取り組みは、こどもまんなか社会の取り組みを始めていく。町民とともに考えていきたい。



民泊、簡易宿所等による近隣住民への生活環境悪化の改善

町… 管理会社への適切な対応を求めることを要望した



鈴木

美貴 議員

Q 民泊条例について、県に対して町の要望の内容は。

A 町長 条例制定から5年が経過し、県から見直しについて意見照会があり、区域と期間の継続と併せて、県が受理した民泊の苦情について、町へ随時情報提供をしていただくこと、騒音やごみ出し等のルール違反に対する管理会社への適切な対応を求めることを要望した。

Q 町民から「軽井沢は民泊施設を認めていないが、箱根はなぜダメなのか？」と聞かれるが、そのことについて何う。

A 観光課長 軽井沢町での民泊は、箱根町と同様に法令や県の例規等によって行われ、そのうえで軽井沢町が「民泊施設等の取り扱い基準」を設け、町内での民泊を認めないとしている。この基準という民泊施設は

「県に届出を行い営業される民泊」で、実際に長野県が公表している民泊施設一覧には軽井沢町内の施設が複数掲載され、町によって町内の民泊営業が規制されている訳ではないことから、箱根町でも同様の基準を設けることができなくはないが、実効性がほとんどないこと、特定の人が安らかに静養するための別荘地として発展した軽井沢と不特定の人が訪れ、サービス業中心の経済活動が活発の箱根では、民泊だけを断る施策を採ることはできず、軽井沢町との違いをご理解願いたい。



一般質問の動画はこちら

物価高騰対策・在宅障害者支援の充実を求める

町… 自動車燃料券の他にタクシー券も追加交付する



山田

和江 議員

Q エネルギー、食料等の価格高騰に世界中が襲われている。町民から「節約も限界」の声が聞こえている。実質賃金は上がらず、年金は下げられ、社会保障の負担は増え、消費税も連続して増税された。寒さが厳しくなる年末に向けて、暮らしと営業を守るために物価高騰対策を質問する。初めに、「箱エールクーポン券」の支給について、また、出してくれるとどんなに助かることかとの声が多数寄せられている。

A 町長 秋の観光シーズンには多くの観光客がきており、ほぼ平時に戻りつつあると聞いている。また、国の低所得世帯に対する給付金や定額減税の報道もあるので現時点ではクーポン券の配布を行う時期ではないと考えている。

Q 非課税世帯の7万円は当町で2000世帯未満が対象で、定額減税もいつ実施されるかわからない。困っている住民のために「箱エールクーポン券」を支給すべきだ。

A 町長 国や券もしっかり対応しているのだから必要はないと私は考えている。

Q 次に在宅障害者支援制度の充実を求めたい。

A 町長 現在も燃料価格の高騰が続いているので追加交付をする。自動車燃料券の他にタクシー券も追加交付して支援の充実を図っていく。



一般質問の動画はこちら

総務企画観光常任委員会 中間報告



新消防指令システム概要説明



LIVE119・映像伝送システムの検証

10月から新たな委員構成となり、去る11月8日に消防指令システム更新についての現状報告、及び総務・企画・観光政策に関する今後の調査・研究・検討課題について協議した。

令和6年度稼働予定の新消防指令システム・LIVE119（映像伝送システム）は、スマートフォンを利用して、通報者と指令室との間で映像の送受信が可能となり、現場状況の詳細を明確に伝達でき、現場に向かう消防隊・救急隊も映像の共有が可能になる画期的なシステムである。

また、今後の検討課題については、持続可能な観光地創りを主眼に、「デジタルインバウンダリ推進計画・HAKONE SDGs計画・インバウンド観光対策及び民泊や簡易宿所等の諸問題」について、調査検討を行くこととした。

委員長 勝俣泰彦

教育福祉環境常任委員会 中間報告



町道箱113号線現地視察



強羅花扇「円かの杜」にて

委員会メンバー変更後、令和5年11月8日に初めての町内視察を行った。

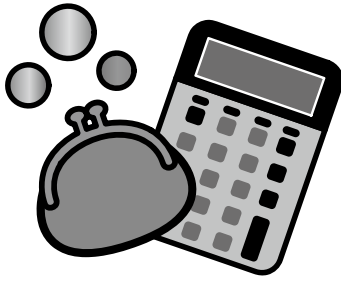
今回は、二酸化炭素が地球温暖化に及ぼす影響がもっとも大きいとされる温室効果ガスであることから、CO₂の削減への取り組み状況の現場を視察した。強羅で「環境配慮型旅館」へ積極的に取り組む宿泊施設が、水素ガスの調理コンロを導入して、料理の提供をしている。

この施設では町の補助金制度を受けて「生ごみ処理機器」の導入・活用、そして客室冷蔵庫内のペットボトルをビンの容器に変えたことによって、回収・返却をして、ゴミとして排出しない取り組みなどを行っている。

その後、補正予算で可決され整備に着手した町道法面崩落現場など2か所を視察した。

委員長 川口延明

行財政改革調査特別委員会 委員長報告



中長期財政見通しを算定した結果、財源不足が見込まれ、超過課税を継続し、公共施設再編整備計画に基づく施設管理、行財政アクションプランの収支改善効果の見直しを図っても尚、財源不足が見込まれるとの報告を行政より受け、討議した結果、賛成多数で超過課税の継続を認めることに決定しました。今後の委員会の継続も決定し、委員長に稲葉親太郎委員、副委員長に川口延明委員と決定しました。

前委員長 勝 保 剛 一

新委員長になりました稲葉親太郎です。経常収支比率が厳しい町にあって、財源見通しが中長期的に約4億円から10億円が不足すると試算されておりますので、対応策などについて協議してまいります。町民に負担がかからないような方法などを検討してまいりたいと考えております。

新委員長 稲葉 親太郎



12月5日に開催した委員会の様子

神奈川県町村議会議長会 自治功労者表彰式・議員研修会

11月17日に神奈川県町村議会議長会主催の自治功労者表彰式・議員研修会が開催されました。

議会議員として11年にわたり、地方自治の発展振興に寄与した功績により、1名の方が表彰され、表彰式終了後、心停止をさせない、心臓オポポンプ手術の第一人者で、2012年2月には東京大学医学部付属病院で行われた上皇陛下の冠動脈バイパス手術を執刀した、「順天堂大学大学院医学研究科 心臓血管外科 特任教授 学校法人順天堂理事」の天野篤氏により、「若々しい高齢者であるための行動学」をテーマにした講演が開催されました。

この講演の中で特に印象に残ったことは、人生のスピードというものは、各々の「年齢に応じた速度」で、進んでいくということです。現在、私は61歳なので、61kmの速度で日々前進しているということになります。例えば20歳の方は20kmの速度で、80歳の方は80kmの速度で前進していることとなります。

私にとってこの講演は、とても貴重なものとなり、絶えずこの言葉を意識し、一日一日を大切にしながら、過ごしていきたいと思えました。

広報広聴委員会委員

勝 保 陽 二



場所：葉山町福祉文化会館 ホール

広報広聴委員会では、 議員と皆さんとの活動を紙面で紹介していきます。

『箱根町子育てシェアタウン』知ってますか？

昨年度から、始まった「箱根町子育てシェアタウン」プロジェクトには、複数の議員からも質問がされておられ、今後のプロジェクトの推移をこれからも見守って参ります。



書初めを指導者と清書中の児童



カードゲームに夢中！



音楽止まるかな？アイス取りゲーム

小学5・6年生・
中学生対象！

箱根町再発見ツアーに同行しました

今年度から新規交流事業として実施された“箱根町再発見ツアー”に視察を兼ねて同行しました。



12月16日、箱根湯本駅から、甘酒茶屋、桃源台港、大涌谷、強羅、宮ノ下を巡る予定でしたが、強風で海賊船が欠航となったため、急遽元箱根集会所で、芦ノ湖のワカサギ漁・大涌谷の温泉・海賊船について各職場で働く青少年指導員が講義を行い、児童・生徒からの質問に答えました。早雲山一大涌谷間を往復したロープウェイが強風に揺られ、アトラクションのようでした。早雲山駅において、ケーブルカーの運転指令室・機械室で説明を受け、宮ノ下の常泉寺では子どもたちが座禅を体験し、心を落ち着かせ集中していました。

参加した児童・生徒は、朝から他の学校の児童・生徒や青少年指導員と1日を過ごし、新しい発見と共に貴重な経験ができたことと思います。

『野球しようぜ』大谷選手グローブ贈呈

1月9日、小学校で始業式が行われ、同時にドジャース大谷翔平選手から贈られた野球グローブの贈呈式がありました。校長先生が、大谷選手からの「野球しようぜ」と締めくくられたお手紙を朗読し、児童に手渡していました。

グローブは左利き用を含めて三つ。子供たちは仲良く交代でグローブをはめていました。学校の先生方は飾るのではなく、実際に使っていく方法を模索していくとっております。



箱根の森小学校始球式



大谷選手からの手紙

はこね 再発見 湯本山崎のだるま絵

国道1号線を箱根から小田原に向かい、湯本「山崎」の信号機から200メートルほど行った左側の斜面にあるだるまの絵を目にした方は多いと思います。「交通安全之碑」と書かれ、だるま絵の左側に「止まります 待ちます 車のきれるまで」との文字が刻まれています。だるまの絵は湯本山崎に住んでいた、日本画家の直井白雲さんが描いただるまがモチーフになっていますが、これがいつ、だれによって建立されたのか、箱根町や長年地域に住んでいる方々にお聞きしましたが、詳細なことはわかりませんでした。

大井町にも「交通安全祈願だるま碑」があり、こちらは、昭和52年に建立され、同じく直井白雲さんが描いただるまがモチーフとなっています。

昭和40～50年代は交通事故が多発した時代で、どちらも交通事故による犠牲者の冥福と交通安全を祈願して建立されたもので、いまでも、みんなの安全を祈って見守り続けています。



山崎のだるま絵



大井町のだるま絵

(投稿者 広報広聴委員会 鈴木美貴委員)

洞爺湖町 来町

1月2・3日に行われた箱根駅伝100回記念大会に、姉妹都市の洞爺湖町から下道英明町長と大西智議長、経済部観光振興課秦野主幹が箱根芦ノ湖園地のゴール・スタート地点に応援に来てくれました。

当日は、勝俣町長と山田議長が出迎え、姉妹都市としての交流を深めました。洞爺湖町の皆様は、3日早朝選手のスタートを見届けて北海道にお帰りになりました。



3月定例会の日程 (予定)

- 本会議**
- 2月21日(水) 予算説明
 - 3月1日(金) 一般議案、6日(水) 予算審議
 - 7日(木) 予算審議、11日(月) 予算審議
 - 14日(木) 一般議案、15日(金) 一般議案

※2月14日(水)開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。

詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

広報広聴委員会
委員長 副委員長

村野由紀子
折橋尚道
鈴木美貴
勝俣章彦
佐藤陽子
勝藤泰彦